

講義名	研究演習				
講義コード	55414	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 金曜日 5時限
担当教員	魚田 尚吾			ハンパリング・コード	SEM350
学部・学科		演習分野			
人間社会学部 人間健康学科		スポーツ医科学演習			
概要説明					
<p>当研究室では、競技スポーツ選手のスポーツ外傷・障害予防や、ジュニア選手の将来的なパフォーマンス向上に関する研究と実践を行っています。授業は基本的に対面で行い、補足としてオンラインを活用します。</p> <p>研究演習 実践的に身体を動かし、データを測定しながら、スポーツ医科学に関する重要な理論を確認し合います。</p> <p>研究演習 それぞれがスポーツ医科学に関する情報を集め、批判的な思考で情報を整理し、研究室内で共有していきます。その中で生まれた問いについて、研究計画書を作成していきます。</p> <p>研究演習 科学的根拠に基づいた情報を整理し、レビュー・レポートや研究結果発表などの成果物を作成します。</p> <p>卒業研究 自らの問いを検証するために研究を実施し、卒業論文を作成します。</p>					
主な卒業論文のタイトル					
例) 体力トレーニングが〇〇に及ぼす影響、〇〇とフィジカルパフォーマンスの関係性など					
教員からの要望					
楽しく学んでいくために、些細な疑問を大事に、自分で問いを立て、検証していく前向きな姿勢を希望します。					
選考方法					
<p>研究演習 面談期間中に対面による選考を行います。面談可能時間はガイダンス資料に示します。</p> <p>研究演習 研究演習 の単位を取得した者を優先します。それ以外の募集は、面談により選考を行います。</p> <p>研究演習 および卒業研究】 研究演習 の単位を取得かつ研究演習 で研究計画書を作成した者に限ります。</p>					

評価方法	
出席、課題（レポート、プレゼンテーションなど）、ゼミ活動に対する積極性などから総合的に評価します。	
教員英字氏名	研究室
Shogo Uota	V棟4階5421研究室
最終学歴	
大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程（単位取得後退学）	
学位	
スポーツ科学修士	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
<p>現在の研究テーマ スポーツ外傷・障害予防を目指した着地動作戦略 ウェアラブルセンサーを活用した新たなテニスパフォーマンスの定量化と介入効果の検証</p> <p>日本テニス協会 強化育成本部 強化サポート委員会 強化育成本部 富士山プロジェクト委員会 普及推進本部 医事委員会 関西テニス協会 スポーツ医・科学委員会 大阪府テニス協会 スポーツ医科学委員会</p>	
趣味・特技	
畑で野菜づくり（2026/2-）	
所属	
人間社会学部人間健康学科	
所属学会	
日本アスレティックトレーニング学会 日本臨床スポーツ医学会 日本体力医学会 日本テニス学会	
専門分野	
体力科学、トレーニング科学、アスレティックトレーニング学	
担当科目	
トレーニング科学理論 健康運動科学理論 トレーニング科学実習 健康運動科学実習 運動処方演習B スポーツバイオメカニクス	
備考	
実務経験の有無及び活用	
実務経験あり（スポーツ実践現場でのインターンシップの機会を提供可能）	